

地球家族プログラム

国際教育交流センターアドバイジング部門

小倉みどり

「地球家族プログラム」では、1998年から、留学生と地域の一般家庭とが国際交流を目的として祝日・週末等とともに過ごすホームステイプログラムを企画運営している。本年度は、宿泊を伴わない日帰りのホームビジットも新たに提供した。また、外部団体主催のプログラムの募集に協力し、主催プログラムと協力プログラムで延べ140人の留学生が参加した。

1. 地球家族プログラム主催、ホームステイ・ホームビジットプログラム

【概要】

アドバイジング部門（ACS）の「地球家族プログラム」が主催するホームステイとホームビジットについては、以下のような手順で運営した。

① 日程の決定

ホームステイ3回、ホームビジット2回の日程を、大学の授業や行事の日程等を勘案して決定した。

② 参加者募集

ホストファミリー（個人登録者及び登録団体代表者）へは郵送やメールにて案内し、留学生へは各回、国際棟、国際交流会館の掲示板に掲示し、Facebook やホームページに掲載した。・・資料1

③ 応募書類の提出・受領

留学生は申込書を ACS 事務室に本人が直接持参し提出、更に、ACS カウンターに設置の PC 端末で登録した。ホストファミリーは、郵送、FAX、メール添付のいずれかの方法で申し込み書類を提出した。

④ マッチング

ACS において家族構成やペット、喫煙の有無などを考慮してマッチングをし、ホストファミリー宛てに（団体会員の場合は団体代表者宛てにも）結果を郵送した。

留学生にはメールで結果（参加の可否）を通知した。

⑤ オリエンテーション

参加留学生に対し、プログラム実施の2週間ほど

資料1 留学生募集チラシ

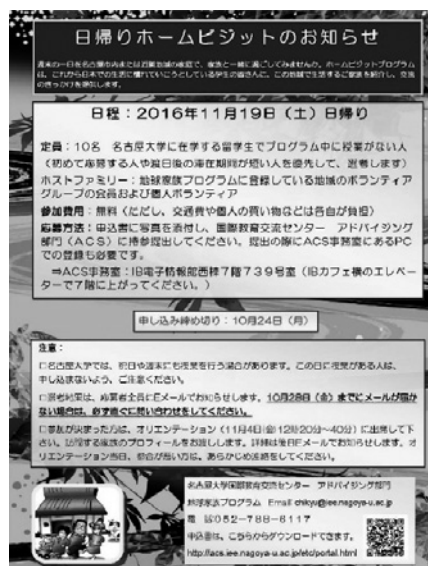
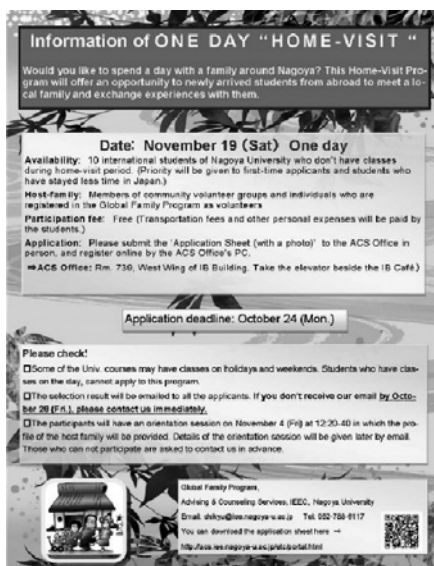


表1. 地球家族プログラム主催 ホームステイ・ホームビジット

	日程	名称	留学生数 *1	ホストファミリー家族数 (カッコ内は複数受入家族) *2			
				ハビネスト	ボレボレ	大府市	個人登録
1	5/21 日帰り	春のホームビジット	9	1	1	1	6
2	7/30 2泊3日	夏休みホームステイ	8	1		2	5
3	11/19 日帰り	秋のホームビジット	9	2		1	5 (1)
4	1/21-22 1泊2日	環境学研究科 ホームステイ	2			2	
5	2/4-5 1泊2日	春のホームステイ	6	2		1 (+1)	2
小計				6	1	7 (+1)	18 (+1)
合計			34	32 (+2)			

*1. 環境学研究科が ASEAN と日本を繋ぐ「グローバル・ソフトインフラ基礎人材」育成プログラムで短期受入をしたラオス国立大学大学院生対象プログラム

*2. ホストファミリーの母数は、個人登録者(名大構成員, 同窓生, 地域ボランティア)17名, 団体登録者(Mino ホストファミリーハビネスト 約30家族, 国際ボランティアボレボレ 約30家族, 大府国際交流協会 約90家族)

前にオリエンテーションを行い、ホストファミリーのプロフィールを渡しホームステイの簡単な説明、注意点などを伝えた。オリエンテーションに参加できなかった学生には、個別に説明をした。

- ⑥ ホストファミリーと留学生が連絡を取り合い、待ち合わせ場所を決める。
- ⑦ プログラム実施(表1)
- ⑧ アンケート回収→フィードバック

【ホストファミリー募集方法】

審査の時間的負担等の理由で、地域一般家庭の個人登録については新規募集を停止し、名古屋大学関係者及び、ボランティア団体所属のホストファミリーからのみ新規登録を受け付けた。全学同窓会支援事業費でホストファミリー募集の小冊子を作成し、ホームcomingデーでの配布やホームページ掲載等、広報の協力を依頼した。在学生向けには、ACS ホームページへの掲載や、名古屋大学新生オリエンテーションでのチラシの配布をした。

新規のホストファミリー登録希望者には、ACS 事務室で30分程度、説明及び面接を行い登録完了とした。在学生の場合は、保護者同伴での面接を実施した。

【フィードバック】

プログラム終了後、留学生、ホストファミリー双方

にアンケートを実施し、ホストファミリーへのニュースレター「地球家族プログラムだより」に、総括して掲載した(資料2)。改善点などの提案は、次回のオリエンテーションで留学生への説明項目に加える等、フィードバックに役立てた。

アンケート結果より、本年度より実施したホームビジットプログラムは、ホストファミリー側も留学生側

資料2 地球家族プログラムだより



も宿泊の準備が不要なため、より気軽に参加でき、新しい出会いの機会になったと考えられる。

尚、本年度後半より、留学生へのアンケートは、web上で行うアンケートシステムを導入したことにより回収率が向上し、80%以上の参加者からアンケートを回収することができた。

2. 外部団体主催 ホームステイプログラムへの協力

外部団体が企画したプログラムのチラシを受領し、国際棟や国際交流会館への掲示、facebook への掲載等によって広報に協力した(表2)。プログラム終了後は実施報告書を提出していただいた。

表2. 外部団体主催ホームステイ

	日程	団体名*1	参加留学生数
1	4/29-5/1 2泊3日	ヒッポファミリークラブ	20 (+1)
2	5/2-5 3泊4日	津市国際・国内交流室	8
3	7/30-8/1 2泊3日	ヒッポファミリークラブ	12
4	11/5-6 1泊2日	ヒッポファミリークラブ	31
5	12/16-18 2泊3日	知多市国際交流協会	7
6	12/24-25 1泊2日	ヒッポファミリークラブ	16
7	3/18-20 2泊3日	ヒッポファミリークラブ	12 (+3)
合計			106 (+4) *2

*1. ホストファミリーの母数は、ヒッポファミリークラブ 約400家族、知多市国際交流協会 約50家族

*2. ()内は、留学生と一緒に受け入れていただいた家族の人数

3. 来年度に向けて

- ・名古屋大学在学学生及び同窓生、また無償で受け入れをしている団体への広報を広げる。
- ・国際教育交流センター主催短期日本語プログラム(NUSTEP)に参加する海外の学生の国際交流活動としてホームビジットプログラムを提供する。
- ・同窓会支援事業費で、ホストファミリー交流会を開催し、受け入れ時の感想や、意見などを直接交換し合

う機会を提供する。

・名古屋大学教育学部附属中・高等学校をはじめ、地域の高校の国際交流の要望に対し、ホームステイ・ホームビジットの受け入れを提案し、協力を依頼する。

・近年増えている一人世帯のホストファミリー登録や海外育ちの日本人学生の参加などについても検討しながら、日本の現代社会や留学生たちの状況に添ったホームステイ・ホームビジットを作っていきたい。